

地球の子供達3人とトランスフォーマー達の出会いを描き、トランスフォーマーとはどんな種族なのかを伝えること。そして新たなトランスフォーマー、マイクロンとはどんな立ち位置にいるのか。そのことを初めてトランスフォーマーに接する子供達に覚えてもらおうと、流れを考えていた。

当初から、物語の舞台が地球から宇宙へと変わっていくことは決まっていた。そこでマイクロン達は、最初は記憶があいまいな状態だが、宇宙に出る頃になって初めて覚えたての地球語をカタコトでしゃべるという設定となった。もっとも、僕の頭の中では、言葉を使い始めたマイクロンは1日1語しかしゃべることができないので、そのひと言を聞き出すために1話を費やすような設定も考えていたのだが……。

ということで、ここでは僕とトランスフォーマーが出会った頃の頭の中を覗いてみようと思う。

アメリカとの合作？ ふーん。トランスフォーマーってあれでしょ、ロボットがガッシンガッシン変形するやつ、それも団体で。え？ 人間も出てくるんだ。3人!? これって今風の萌えキャラにするとロボット達のキャラが死んじゃうよね……。じゃ、普通にしましょ。物語が進んでいくうちに子供達も魅力が増してくるよ。この3人でないとマイクロンが目覚めなかったって設定はかなり重要だよ。え？ それはまたあとの話？ とりあえずそれで進むだけ進める？ ……まあ長い1年だしそういうこともアリか……。でもゆくゆくは考えようね。課題。試作玩具ができたんだ。うわ～すごい！ 手がこんなになって、足がほ～なるほど。へえ。へえ。へえ（語尾が上がってしまっている。まさに10へえだ）。ミサイルが飛び出して……あれ、頭がこんなトコに付いちゃうんだ。で。これが何体あるんです？ サイバトロンとデストロンで9体ずつ？ ということは×2で18体。すげえ……。ん？ 各キャラクター変形するから、さらに×2で36体?? ふえ～まだ増えるの!? あっと、ミニコン（マイクロンのこと。この当時はまだ呼称が決定していなかった。したがって正式な番組タイトルも未定だったのだ）がやっぱり変形するよね。それだけじゃない。各キャラクターにパートナーマイクロンとして合体しますよね……。わあ、もはやすげえを通りこしてるう!

……なんてやりとりをしている頃、アメリカはあの9.11を迎えるのである。

え？ 戦争を想起させるのでミサイルを飛ばさない？ ビルを壊さない？ 光線で処理することにより痛みを感じさせない映像にする？ ……でもなあ、敵側は^{デストロン}戦車やら戦闘機やら、軍事兵器ばかりなんだよなあ……。問題山積み。なにせ戦うために生まれた戦士、トランスフォーマーだもの……。

かくして、超ロボット生命体トランスフォーマーは、地球のマイクロン達の信号を受け、はるかセイバートロン星から地球へとやって来たのであった。

TEXT BY うえだひでひと